平成 30 年度事業報告書

1 平成 30 年度事業の概要

平成 30 年度は、公益目的事業及びそれを支える収益事業の着実な継続と経営自律化のため、指定管理業務の更新やその他事業の拡大に向けた取組を進めた。

公益目的事業においては、地球温暖化対策、生物多様性の確保、良好な生活環境や地域交流、防災等の面でますます重要となっている都市の緑を保全・創出するため、京都市緑の基本計画等に基づく活動を推進した。

公 1 事業(都市緑化の普及啓発、緑化意識の向上及び緑豊かなまちづくりに寄与する事業)では、緑のボランティア団体支援、京都の生物多様性保全など都市緑化に関する各種事業、公園を生かした緑のイベントの開催等を行った。

梅小路公園及び宝が池公園子どもの楽園の指定管理業務は、指定管理期間の最終年度を迎え、京都市による新規公募に応募し、審査の結果、両公園とも指定管理者の指定を受けることができた。両公園では、利用者の利便性・快適性確保のための取組を行い、特に梅小路公園においては、平成 31 年 3 月 16 日に JR 嵯峨野線「梅小路京都西駅」が公園に直結して開業し、合わせて行われた七条入口広場の再整備、チンチン電車修理等への対応を行った。新駅開業により公園周辺地域のエリアマネジメントの気運が高まりつつあり、本協会も、京都水族館、京都鉄道博物館等の公園施設管理者、エリアの企業・団体、及び京都市等との連携を強め、公園周辺地域の活性化につながる各種事業を行った。また、岡崎公園芝生広場維持管理や平安神宮神苑浚渫調査など新たな事業を受託し行った。

公 2 事業(京都の庭園の保全管理、庭園文化・技術の継承及び発展に寄与する事業)では、日本庭園の良好な保全管理や京都の庭園文化の情報発信等を行った。

公園収益事業では、休日の悪天候と酷暑、特に度重なる台風の接近等の影響があり、販売手数料等収益や利用料金は前年度の実績を下回った。また、京都市深草墓園の平成 31 年度以降の指定管理者の募集に応募し、緑分野の実績を生かした提案を行ったところ、指定を受けることができ、当年度は新たな人材確保や業務の準備に取組んだ。

法人業務においては、評議員会を 1 回、理事会を 2 回開催した。また、京都市外郭団体自律化の取組として京都市出捐比率引下げの準備と新たな財源ともなる受託事業の拡大に努めた。経常収益計は、販売手数料等収益の減少があったが、受託事業の収益拡大と、人件費が予算ベースを下回ったことなどにより、当期一般正味財産増減額はプラスとなり、7 期連続で黒字となった。

2 平成 30 年度の事業実施状況

I 公益目的事業 決算額 211,822 千円 (予算額 208,638 千円)

I-1 (公 1) 都市緑化の普及啓発、緑化意識の向上及び緑豊かなまちづくりに寄与する事業

決算額 188,091 千円 (予算額 187,703 千円)

都市緑化の普及啓発、緑化意識の向上及び緑豊かなまちづくりを目的として、管理運営する公園等を拠点として、各地域において講習会、イベント、広報その他様々な事業を行った。

(1) 緑の学校と人材育成

緑化に関する各種の講習会を実施し、緑化リーダー（(6)イ関連）などを育成する「緑の学校」を運営した。

ア 園芸・花壇づくりの講習会

a 園芸講習会

市民を対象として、園芸、造園など緑化に関連する技術・知識の普及を図った。

- ・講師 花と緑の普及員 駒井修
- ・受講料 前期 4,000 円，後期 4,000 円
- ・受講者 前期 26 人／後期 42 人 ・参加者数 8 回計 251 人

	回	開催日	実施内容
前期	第 1 回	4 月 26 日	ハンギングバスケットに向く植物の育て方と選定
	第 2 回	5 月 17 日	夏・秋草花の育て方とカラーリーフを使った寄せ植え
	第 3 回	6 月 21 日	観葉植物の育て方と花木のさし芽
	第 4 回	7 月 19 日	多肉植物の育て方と多肉植物を使った寄せ植え
後期	第 1 回	11 月 8 日	秋植え球根と冬咲き草花の寄せ植え
	第 2 回	12 月 6 日	クリスマス飾り
	第 3 回	2 月 7 日	苔玉づくり
	第 4 回	3 月 7 日	多年草の株分け実習

(29 年度は計 6 回実施。)

b 家庭菜園づくり講習会(2 回シリーズ前期・後期)

自宅の玄関周りやベランダ等で楽しむ家庭菜園づくりの方法を学んだ。

- ・講師 花と緑の普及員 駒井修
- ・受講料 前期 1,500 円／後期 1,500 円
- ・開催日 前期 4 月 20 日，5 月 11 日／後期 9 月 14 日，10 月 12 日
- ・受講者 前期 20 人／後期 14 人 ・参加者数のべ 68 人

c 園芸セルフケア教室

園芸療法士(米国 HTR)の指導により、植物の手入れを通して自身の健康チェックと生活リズムを整える教室で、梅小路公園の花壇等を活用し開催。植物名、四季を通じた植物管理を学ぶとともに参加者間の交流を図った。

- ・講師 花と緑の普及員 寺田裕美子
- ・受講料 なし(保険料のみ) ・開催日 毎週木曜日 ・受講者 13 人

d 樹木の剪定教室

家庭の庭など身近な場所で活用できる樹木剪定の基礎を講義と実習を通じ学んだ

- ・講師 花と緑の普及員 野杵勝俊
- ・開催日 12 月 7 日，14，21 日 計 3 回 ・受講料 1,000 円
- ・受講者 9 人

e 地域での出張園芸講習会等

まちなみ緑化モデル事業((5)ア)や行政からの要請等により、出張講習会等の主催又は講師の派遣を行った。

場所／テーマ	開催日	講師	参加人数	備考
高倉小学校(中京区)／ヒ	5 月 24 日，	藤井肇・秦賢二	計 150 人	中京区役所主催

オウギ講習会	10月15日	(緑化リーダー)		
中京区役所／ハーブの寄せ植え	7月18日	鳥賀陽百合(ガーデンデザイナー)	39人	中京区役所主催
島原のぞみデイサービス(下京区)／植替え講習	10月4日	寺田裕美子(協会)	通所者8人 セルフケア受講者4人	まちなみ緑化支援
東山区役所／東山区防犯のための園芸教室(東山警察署, 東山消防署が防犯・防火講座)	10月16日, 3月13日	駒井修(協会)	計74人	東山区役所主催
朱雀第四学区・朱雀第四小学校(中京区)／京エコライフプログラム・グリーンUPプロジェクト	12月17日, 1月29日	伊藤信太郎(協会)	計100人	まちなみ緑化支援
植柳学区女性会(下京区)／正月寄せ植え教室	12月20日	駒井修(協会)	22人	まちなみ緑化支援

イ 家庭の庭づくり講座

おもに家庭など身近なガーデニング(庭づくり)について、計画の立て方から造成、植栽、維持管理、庭での楽しみ方まで、講師との対話により学んだ。

- ・講師 花と緑の普及員 野杵勝俊
- ・受講者 前期10人／後期11人 ・参加者のべ104人 ・受講料2,000円

	開催日	実施内容
前期 (夏～秋)	6月29日, 7月13・27日, 8月10・24日, 9月7日	家庭の「庭づくり」、自宅の庭を考える、庭を造って植える、庭木の手入れ(剪定)、草花の手入れ、庭の楽しみ方
後期 (冬～春)	1月25日, 2月8・22日, 3月8・15・22日	家庭の「庭づくり」、自宅の庭を考える、庭を造って植える、庭木の手入れ(剪定)、草花の手入れ、庭の楽しみ方

(29年度は12回実施。)

ウ 都市の生物多様性、京都ゆかりの和の花に関する講演会等

京都の生活文化に密接な関係があり、希少となった「和の花」を守り育てるため栽培方法等を学ぶ教室や、希少植物の保全、都市の生物多様性の確保に取り組む最近の活動を紹介する講演会等の開催又は講師派遣を行った。

- ・藤袴と和の花展第十回記念特別セミナー「京都の藤袴 守って20年」 10月8日
市内での発見から20年間フジバカマの保全を担ってきた藤井肇氏(京都府希少野生生物保全推進委員、本協会緑化リーダー)による講演会 参加者50人
- ・葵サミット(上賀茂神社、全国のフタバアオイ保全団体の交流会議) 11月10日
コメンテーター・森本幸裕(協会理事長) 参加者約100人
- ・京都市生物多様性セミナー(キャンパスプラザ京都) 11月23日
コーディネーター・森本幸裕(協会理事長) 参加者約200人

エ 庭園ボランティアガイド講座

庭園文化講座(I-2ウ)の修了者等を対象に朱雀の庭及びいのちの森をガイドする

ボランティアを募集し、庭・森の成り立ちや見どころ、案内方法等の研修を行った。

- ・開催日・内容（講師） 3月9日 朱雀の庭（造園家・協会理事・吉田昌弘），3月16日 いのちの森（京都ビオトープ研究会代表・田端敬三），3月23日 ガイド見学・ガイドダンス ・受講者 11人

オ 緑の散策ツアー

緑のスポットを訪ね歩き、緑にかかわる歴史文化や快適な生活環境づくりの取組みを考えるツアー。30年度は庭園見学に絞った「京の庭めぐり」を開催した。

- ・講師 吉田昌弘（協会理事，（一社）日本ランドスケープコンサルタンツ協会顧問）
- ・開催日 11月21日 ・受講料 2,000円（入園料等含む。）
- ・コース 等持院庭園～真如寺庭園（北区） ・受講者 20人
（29年度は2回実施。）

(2) 自然環境に関する講習会・体験活動

ア 体験型講習会，自然観察会等

自然観察会，プレイパークでの子ども及び家族向け自然あそび教室等を開き，自然環境に根差した地域の歴史や生活文化を学ぶプログラムも行った。

a 梅小路公園自然観察会の実施

様々な生き物に親しみ，自然の仕組みを理解していただくことを目的として，ビオトープ「いのちの森」をはじめとする公園内での自然観察会を実施した。講師は京都ビオトープ研究会いのちの森モニタリンググループ，協会職員等。

① 月例等定期的観察会

- ・参加料 無料（別途いのちの森入園料 200円。グリーンフェア時は無料。）
- ・各回の実施内容（計14回・参加者計 197人）

開催日	テーマ	開催日	テーマ
4月21日	植物の観察1	10月6日	グリーンフェア観察会
5月3日	グリーンフェア観察会	10月20日	植物の観察6
5月19日	植物の観察2	11月17日	紅葉する植物
6月16日	きのこの観察	12月15日	植物の観察7
7月21日	植物の観察3	1月19日	野鳥の観察
8月18日	植物の観察4	2月16日	公園管理
9月15日	植物の観察5	3月16日	植物の観察8

（29年度は14回実施。）

- ・「2017年度いのちの森報告書」については京都ビオトープ研究会HPで公開。

② 子ども緑の学校～梅小路公園子ども自然観察会

子ども向け自然観察会をシリーズで開催。いのちの森周辺の季節の移り変わり，植物（コメ，和の花）の生長を見守り，収穫して利用するなどの体験を通して自然に親しむ機会をつくった。

- ・講師 いのちの森モニタリンググループ（田端敬三・北川ちえこほか），稲垣文拓（乙訓の自然を守る会），小谷尚江（協会プレイパークリーダー）
- ・対象 小学生（一般公募）・受講料 1,200円（6回分）
- ・参加者数 のべ112人（保護者除く）

回	開催日	内容
第1回	5月19日	田植え・ヒオウギ植替え
第2回	6月16日	クリンソウ等の植栽
第3回	7月21日	ヒオウギ観察

第4回	8月4日	かかしづくり
第5回	9月16日	稲刈り体験
第6回	10月14日	脱穀体験

(29年度は6回実施。)

b 宝が池公園自然あそび教室

① 子どもの楽園周辺の自然を生かした教室等

遊びを中心とする通常のプレイパーク活動((7)エ)とは別に、子どもの楽園とその周辺の自然環境を生かし、遊びながら学べる教室を実施。自然観察のほか、クラフト、自然の仕組みや生活文化等を学ぶ多彩なプログラムを行った。

- ・開催日 原則第1・第3土曜日
- ・実施回数 計31回(29年度は28回実施) ・のべ参加人数 744人
- ・特別プログラムのテーマ ツツジに染まる宝が池ハイキング、水辺の生き物発見隊、ナイトウォッチング～セミ羽化観察、縄文式土器づくりに挑戦(公財)京都市埋蔵文化財研究所協力)、夏休みキャンプ、宝が池に水鳥に会いに行こう等

② 京都工芸繊維大学との共催による観察会

- ・テーマ「大きなヤママユを育てよう」
- ・開催日 5月12・13日 ・場所 京都工芸繊維大学15号館、屋外
- ・講師 齊藤準(京都工芸繊維大学准教授)、京都北山やままゆ塾
- ・参加者 23人(小学生と保護者)

イ 環境学習養成講座

体験型の環境学習の活動を支える人材(リーダー)の養成を、学習会や子ども向けプログラムの実践を通じて行った。

a 宝が池連続学習会

「森をしらべる・森をそだてる・森をつたえる」をテーマに、低利用、ナラ枯れ、シカ食害等により次世代の植物が育たない危機的な状況にある森の問題を、座学とフィールドワークで多面的に考える連続学習会。

- ・参加費 1,500円(6回、一般)など(中高生割引あり。1回のみ参加も可。)
- ・場 所 京都府立大学、京都工芸繊維大学、上高野防災会館等
- ・参加者 のべ50人

回	開催日	内 容／講 師(敬称略)
第1回	5月26日	里山を彩るコバノミツバツツジ再生の道筋／森本淳子(北海道大学大学院農学研究院准教授)、鎌田磨人(徳島大学大学院理工学研究部教授/(一社)日本生態学会)
第2回	6月24日	森とつながる水域の生物の生息環境／竹門康弘(京都大学准教授/深泥池水生生物研究会)
第3回	9月8日	土地利用の移り変わりからみる原風景と未来／小椋純一(京都精華大学人文学部教授)、田中和博(京都府立大学教授)
第4回	10月21日	宝が池の森の環境基盤をまなぶ/地質・土壌／佐藤活志(京都大学大学院理学研究科助教)、中尾淳(京都府立大学 生命環境学部)
第5回	11月25日	森林の再生と活用のあり方を考える視点1／板倉豊(京都精華大学人文学部教授/京都市自然教室事務局長)

第6回	12月23日	森林の再生と活用のあり方を考える視点2／柴田昌三（京都大学教授），高柳敦（京都大学講師）
(平成29年度は6回実施)		
特別回	9月22日	岩倉界隈の史跡・森・農地の姿からみる、自然とよりそ地域 の暮らしと歴史／吉崎伸（京都市埋蔵文化財研究所）
特別回	3月9日	東山の山城と史跡からみる自然と地域の歴史文化／吉崎伸 （京都市埋蔵文化財研究所）

(3) 花とみどりの相談所（緑の相談所）運営

ア 相談業務

植物、園芸等に関する技術的な相談を梅小路公園で無料で行っている。また、緑のボランティア団体に対する活動支援の要請にも応じている。

- ・相談日 毎週2日（水曜日，土曜日）及びイベント等での出張相談
- ・時間 午前10時～午後4時まで（面談又は電話による。）
- ・相談員 原田弘種，野杵勝俊（定例），花と緑の普及員・緑化リーダー等（出張相談）
- ・実績 相談日数 112日
相談件数（内容別）1,043件（うち面談による相談53%）
（平成29年度は件数1261件，うち面談による相談62%）

イ 京都ゆかりの希少植物の保全・普及

各地の団体・個人と連携し、フジバカマなど京都ゆかりの和の花，希少な山野草等の保全・繁殖に取組み，展示会等を通じた普及活動を行った。この一環で「京都市生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」の認定団体など希少植物の保全を行う団体に対して希少植物保全に関するアドバイス（出張相談），その他の協力を行った。

a 希少植物保全団体への協力 アドバイス等の実績 9団体14件（下記ウを除く。）

b 施設・環境イベント等での普及啓発活動

- ・市役所ロビー 祇園祭中の高倉小学校（中京区）のヒオウギ自生種展示に協力
- ・京都駅ビル 京都駅ビル3階の緑化展示施設「緑水歩廊」で和の花を展示。（フジバカマ9月25～9月28日，キクタニギク11月16日～11月27日）

c 京都伝統文化の森推進協議会による東山・菊溪の森づくりへの協力

「京都伝統文化の森推進協議会」（事務局・京都市林業振興課）が平成31年3月23日，高台寺山国有林内の菊溪川支流で「キクタニギクの花咲く菊溪の森づくり」を実施（3回目，市民61人ら約80人参加）。これに先立ち，第24回公開セミナー「菊溪とキクタニギクの文化」（2月23日，同協議会主催，京都大学）への講師派遣（協会・佐藤正吾），KES生物多様性プログラム（下記ウ）参加企業・団体を通じた苗の確保などの協力を行った。

d 京都市動物園の希少植物保全活動への協力

京都市動物園では「京都の森」等で希少植物の生息域外保全に取り組んでおり，栽培管理のアドバイス等の協力を行った。

ウ KES生物多様性プログラムへの参画

KES（京都環境マネジメントシステム・スタンダード）の認証登録を行う特定非営利法人KES環境機構が26年度から実施している生物多様性プログラム「エコロジカルネットワーク」の企画・実施に参画した。希少植物の生息域外保全のほか，自社敷地

緑化，地域活動を環境改善目標に採り入れ，計 223 団体が参加した。

a 取組説明会（京都工業会館）

- ・開催日等 4月25日 85人（64団体73人）
- ・説明者 京のアジェンダ21フォーラム，京都市環境管理課，本協会，（一財）葵プロジェクト，京都駅ビル開発（株），KES環境機構

b 希少植物の栽培講習会（京都工業会館）

- ・開催日等 第1回 5月23日 50団体59人，第2回 6月15日 55団体62人
- ・講師 （一財）葵プロジェクト，藤井肇・秦賢二（本協会緑化リーダー）
- ・内容 フタバアオイ，フジバカマ，ヒオウギ，キクタニギク，カワラナデシコ，アヤメ，クリンソウ，ワレモコウの計8種の栽培管理について講義及び実習指導した。

エ 公益社団法人日本植物園協会の活動

本協会は植物園の管理運営をしていないが，緑の相談所や類似施設を運営する団体として，（公社）日本植物園協会に入会している。同協会が「ふるさとの植物を守ろう」と呼び掛ける希少植物保全等に関し，「在京滋植物園情報交換会」等を通じた情報交換や参加園からのデータ提供などの協力を得ることができた。

- ・参加実績 第53回大会（総会，分野別会議等，6月19～21日，広島市）
在京滋植物園情報交換会（2月20日，京都薬科大学薬用植物園）

(4) 緑のイベントの開催及び支援

緑に関連する団体や京都新聞社，KBS京都等のマスメディアとの連携を図りながら，植物，緑の文化，公園緑地の多面的な大切さを訴える様々なイベントを開催した。

ア みどりの月間，都市緑化月間等のイベントの開催，協力

a 梅小路公園グリーンフェア2018春／秋

みどりや広々とした空間など公園のもつ心地よさ，安らぎ，にぎわいを多くの人に感じていただくため，春と秋の2回実施。

	開催日	天候	来場者数
春	5月3日（木・祝）	曇	28,000人
	5月4日（金・祝）	晴	30,000人
秋	10月6日（土）	雨	14,500人
	10月7日（日）	雨	21,000人
計			93,500人

※秋は「市民ふれあいステージ」と同時開催。

b 春・秋の和の花展

自然保護団体や園芸家等の協力により，絶滅危惧種を含む山野草，古典園芸植物等の屋外展示，イベントを行い，身近な自然環境を守る大切さを訴えた。

① 春の和の花展（第9回）

- ・期間 4月21日～5月6日（14日間） ・会場 梅小路公園朱雀の庭，緑の館
- ・京都三山の絶滅危惧種を含めた和の花等約173種297鉢を展示。
- ・企画展示 山本亡洋と千種有功の比叡山フィールドワーク
- ・特別出展 京都西山の苔展（乙訓の自然を守る会，イベント室）
- ・入場者数 3,079人（特別出展含む。）

② 藤袴と和の花展（第10回）

KBS京都「守ろう！藤袴プロジェクト」をきっかけに平成21年度から開催。京都府絶滅寸前種であるフジバカマ約300鉢を庭園内の浅池に展示，府レッドデータブック掲載の種を含めた山野草等約162種301鉢を展示した。フジバカマを保全している水尾自治連合会（右京区），なんやかんや「大原野」推進協議会，市街地で栽培展示を行う深草藤袴の会（伏見区），源氏藤袴の会（上京区）と広報等の協力を行い，KES参加団体（（3）ウ参照）の育成鉢の展示も行った。

- ・主催（共催） 本協会・（株）京都放送（KBS京都）
- ・期間 9月22日～10月8日（17日間） ・入場者数 2,822人
- ・イベント KBS京都ラジオ公開生放送（9月30日），第十回記念特別セミナー「京都の藤袴を守って20年」，香老舗松栄堂「水尾より届いた藤袴の香り」，渡りの蝶アサギマダラなんでもコーナー（BVアサギマダラの会），山野草展示即売会，生け花飾り体験
- ・企画展示 KES参加団体のフジバカマ，オミナエシ，ヒオウギの展示，山本亡洋と千種有功の比叡山フィールドワーク

c 梅まつり in 梅小路

梅小路公園内にある梅林をPRし，植物に親しんでいただくため開催。期間中，床几を置くなどして，ゆっくり鑑賞していただけるよう工夫した。

- ・期間 2月23日～3月3日
- ・イベント 梅の剪定教室（参加者27人）

d 京都まちとみどり写真コンクール

緑あふれるまちづくりを推進する第34回「京都まちとみどり写真コンクール」を共催した。計321点の応募があり，このうち30点が入賞・入選した。入賞・入選作品は梅小路公園緑の館で展示された後，けいはんな記念公園，山城総合運動公園，京エコロジーセンター，生涯学習センター知遊館（与謝野町），京都府庁で展示された。

- ・主催 京都府都市計画協会
- ・共催 京都府，京都市，（公財）京都府公園公社，本協会，（一社）京都造園建設業協会
- ・表彰式 10月6日 梅小路公園緑の館

e 地域イベントへの参加

区民まつり等地域イベントに出展し，都市緑化に関連するPRを行った。

イベント名／場所	開催日	内容	参加人数
堀川桜まつり／堀川河川敷（一条戻橋～押小路）	4月1日	中京・花とみどりの会との共同出展（屋上緑化・都市養蜂等のPR）	約100人
エコセン防災キャラバン／京エコロジーセンター	12月1～2日	雨庭の仕組みについて，子どもたちに模型，クイズ等で学んでもらうコーナー	190人

イ 「みどり」に関連した教室等の開催

クラフト等の「みどり」に関連する季節の教室・体験コーナー等を公園ボランティアの協力で開催した。

a 梅の実採り体験

利用者に愛されている梅小路公園梅林内のウメの実の盗難防止を兼ね，事前に告

知を行い、子どもを含め、梅の実採りを体験していただいた。

- ・開催日 5月29日 ・参加者数 184人
- ・実施協力 梅小路公園花と緑のサポーターの会
- b 多肉植物の寄植え体験コーナー
 - ・開催日 11月2日（下京区ふれ愛ひろば，梅小路公園）
 - ・講師 梅小路公園花と緑のサポーターの会 ・参加者数 26人
- c クリスマスリースづくり教室
 - ・開催日 12月6日
 - ・講師・梅小路公園花と緑のサポーターの会 ・参加者数 21人

(5) 市街地緑化事業

ア まちなみ緑化等支援事業

まちなみ修景のため、和の花や和のイメージの容器を、施設、住宅、事業所入口等の敷地に設置し管理していただく活動や、空き地・空き家の目立つ地域の防犯対策として、花と緑による修景や地域の交流を図る活動への支援等を行った。（活動の一部イベントは(1)ア e に重複掲載）

- a 島原のぞみデイサービスの沿道（下京区）
通りに面した「花矢来」、ハンギングバスケット等の植替え・管理の指導。
- b 菊浜学区「花回廊づくり」（下京区）
六軒橋東詰、高瀬川沿いの街路樹帯への植栽と管理の指導。
- c 朱雀第四学区京エコライフプログラムへの協力（中京区）
通りに面したコンテナ花壇の植付け指導、小学校に隣接する西ノ京公園の花壇づくりへの協力。
- d 久我学区「洗いもを使ったグリーンカーテンづくり」（伏見区）
久我自治会館、神川小学校の洗いもを使ったグリーンカーテンの植付・管理指導。
- e すうじん安全安心フラワー事業（下京区）
京都府下京警察署、崇仁自治連合会（公園愛護協力会）による防犯を兼ねた花壇育成活動の植替え作業（7月5日、10月29日）等への協力。

イ 御池通スポンサー花壇巡回管理業務

京都市のシンボルロードである御池通を企業等のスポンサーの寄付により四季の花で彩る京都市御池通スポンサー花壇事業（花壇基数 102 基）で、沿道の事業者や市民ボランティアが行う花壇の巡回管理の補助、ニュース発行、講習会の実施等の普及啓発を行う業務を受託した。祇園祭に合わせてダルマヒオウギを植えるなど、京都らしさや季節感の演出に努めた。

- ・全面植替え 4 回，巡回管理補助のべ 126 回（全区間相当 56 回）
- ・ニュース（スポンサー花壇だより）発行 6 回，アンケート調査 1 回
- ・技術講習（安全対策，植付け・切戻し方法等） 7 月 25 日 中京区役所 14 人

(6) 緑の団体支援事業

ア 緑のボランティア団体の活動支援（京都市緑のボランティアセンター）

市内各地の緑のボランティア団体の活動を支援するための京都市緑のボランティアセンター窓口運営を含む京都市緑のまちづくり支援業務を 29 年度に引続き受託した。有志団体、企業・学校内サークル、京都市の公園愛護協力会、街路樹サポーター等に、ニュースレター、『京のみどり』等を通じた情報提供、京都市が中心市街地で設置する

和の花モデル花壇，雨庭（四条堀川交差点）の管理を行う団体への支援等を行った。

・30年度実績 相談37件，団体情報作成・展示7件，ニュース発行4件，和の花モデル花壇設置2か所（前年度と合わせ4か所），出張相談・講習32件，巡回・維持管理補助43件

イ 「京都みどりのサポーター協議会」の運営

5つのボランティア団体と本協会で作る「京都みどりのサポーター協議会」（西村勇会長）を通じて，御池通スポンサー花壇沿道「サポーター」の管理活動の補助や普及啓発活動を行った。

・参加団体 梅小路公園花と緑のサポーターの会，中京・花とみどりの会，NPO法人科学技術による環境保全を考える会，小野芙蓉会，京都みどりクラブ

(7) 公園緑地の利用促進及び多目的な機能の向上に寄与する事業

ア 梅小路公園指定管理業務等の受託

JR 嵯峨野線「梅小路京都西駅」の開業に備え，良好な維持管理水準と安全安心の確保に努めた。台風21号による倒木等の被害については，速やかな処理に当たった。遊戯用電車（チンチン電車）運行業務（指定管理区域外，公園収益事業）については，30年度も京都市から受託し，他の施設との一体的活用を努めたが，京都の明治三大復興事業であった市電事業を顕彰する京都市の明治150周年記念行事の開催業務（公1事業）を受託した。

イ 梅小路公園及び周辺エリアの活性化等に関する事業

「梅小路公園・施設管理者連絡会」，「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト（京都・梅小路まちづくり推進協議会）」及び「京都駅西部エリアまちづくり協議会」（代表・森本幸裕・当協会理事長。商店街，自治連合会，企業，寺院，行政等の18団体で構成。）の構成メンバーとして，公園及び周辺地域のにぎわい創出の取組みに参画した。

a 梅小路公園・施設管理者連絡会の開催

各公園施設の管理者が情報交換し，相互の事業の調整や協力，安全確保等のために協議する「梅小路公園・施設管理者連絡会」を事務局として開催した。

・開催日 第16回・4月17日，第17回・7月10日，第18回・10月16日，第19回1月25日（計4回）

・構成 京都市建設局（公園設置・管理者），オリックス水族館（株）（京都水族館），西日本旅客鉄道（株）京都支社，（公財）交通文化振興財団（京都鉄道博物館），（株）コラボ（グリーンハウスコラボ，梅小路パークカフェ），（株）京都駅観光デパート・（株）エーゲル（市電カフェ）・（株）立誠社（市電ショップ），（一財）京都市都市整備公社（駐車場，駐輪場），及び本協会（公園指定管理者）

b 「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」関連受託事業等

① ルート環境整備業務等の受託

京都駅から公園に至るルートの環境整備を目的とする巡回，モニュメント等の清掃，案内，フラワースポット（コンテナ・地植え花壇）の維持管理等を行った。

② 総合案内所での外国人対応

③ 「京の七夕」梅小路会場（8月3～12日）のイベント

オープニングイベントの「行燈づくり」の実施及び七夕飾りの笹の提供等

c 「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」実施イベントへの参加

- ① 梅小路キッズアートキャンパス 11月3日、安寧小学校跡地（下京区）での家族連れを対象とした会員団体によるイベント。本協会はムクロジの実を使った羽根つきの羽根づくりコーナーを実施。
- ② 合同清掃 京都駅から公園までの5つのルートを毎月1回、会員団体が清掃。

d 「梅小路公園・冬芝を育てる会」による芝生広場のオールシーズン緑化

公園周辺の地域団体・企業等（京都青果合同(株)、タキイ種苗(株)、梅小路公園花と緑のサポーターの会、京都みどりクラブ、下京区体育振興会、梅小路小学校、本協会）及び地元学区団体の長の賛同を得て、「梅小路公園・冬芝を育てる会」（本政和好代表（大内学区自治連合会会長）、事務局・本協会）が、ウインターオーバーシード手法による芝生広場のオールシーズン緑化を継続した。

e 京都天神川ライオンズクラブの寄附・協力による公園修景

京都天神川ライオンズはこれまで芝生広場周囲の「桜回廊」づくりや花壇づくりに寄附をされてきた。30年度は台風21号の被害を受けたサクラの復旧工事及び芝生広場西側のクスノキ植樹樹（5区画）の花壇化工事の寄附をされ、10月17日に会員23人が公園ボランティアとともに植栽作業に協力をいただいた。

f 各種イベントの開催、誘致

共催事業を実施するほか、地域団体等が主催する公益性の高いイベントは、開催協力又は誘致を行っている。30年度のおもなイベント（例）は次のとおり。

開催日	イベント名
第1土曜日	梅小路手づくり市（5月、1月を除く。） ※協会共催事業。
4月29日	第90回京都中央メーデー
5月5、6日	ビー・ドライブ春の発表会（ダンス発表会）
5月19、20日	Made in 京都フェス
6月24日	下京区民グラウンドゴルフ大会
7月15日	夏の大感謝祭（JA京都市）
8月3～12日	京の七夕（梅小路公園会場）
8月25日	下京サマーフェスタ
9月16日	リベレーションフェスタ（人権擁護啓発の交流イベント）
9月23日	京都音楽博覧会 I N梅小路公園（第12回）（京都出身バンド「くるり」を中心とした野外コンサート。協会特別協力）
9月30日	下京総合防災訓練
10月8日	京都府警・あおぞら防犯教室
10月20日	京都市ほほえみ広場2018（障がいの有無にかかわらない市民交流イベント）
10月21日	どんといけまつり2018
10月27日	京都やんちゃフェスタ2018
10月28日	電車・バスファン感謝祭
11月4日	京都・まち美化大作戦
11月11日	下京区ふれ愛ひろば（下京区役所等）
11月24日	京都市消防団フェスタ
12月11日	京防災フェスタ2018
2月1～14日	京都・冬の光宴（京都・梅小路みんながつながるプロジェクト）
3月2、3日	第4回京都ツデーウォーク（（一社）日本ウォーキング協会）
3月16日	JR梅小路京都西駅オープニングイベント（JR西日本）
3月16、17日	太陽と星空のサーカス（京都・梅小路みんながつながるプロジェクト）
3月30、31日	第5回梅小路フェス！Do You KYOTO?

ウ 宝が池公園子どもの楽園指定管理業務の受託

子どもや家族連れが快適に過ごせるよう、良好な管理及びイベントの充実に努め、特に平日の利用の拡大に努めた。台風 21 号による倒木等の被害については、速やかな処理に当たった。トイレ・親水施設等の小まめな清掃、夜間に侵入するシカの糞の除去、プレイパークゾーン法面の侵食の監視等に配慮した。

エ 多世代向け事業（プレイパーク、青空健康づくりプログラム等）

梅小路公園、宝が池公園子どもの楽園で、子どもの「遊び、学び、体験」の場を提供するプレイパーク事業を行った。平日にも乳幼児と保護者、平日放課後の小学生を対象としたプログラムや多世代が交流できるプログラムを行った。また、だれもが気軽にできる運動としてウォーキング教室等の健康づくりプログラムを実施した。

a 梅小路公園プレイパーク

「あそびのリーダー」となる大学生等のボランティアを中心に運営を組織し、毎月 2 回、定例の活動を実施した。季節にちなんだプログラムも数多く採り入れた。

- ・活動日 第 2・第 4 土曜日
- ・実施回数 定例活動、特別企画及びグリーンフェア 計 26 回（29 年度は 26 回）
- ・参加者数（子ども・保護者） 計 3,540 人

b 梅小路公園ミニ・プレイパーク

幼児と保護者、または小学生を対象として、小人数による自然遊び等を行い、公園を「居場所」として感じていただく「ミニ・プレイパーク」を行った。

- ・活動日 原則第 2 木曜日の放課後
- ・実施回数 11 回（29 年度は 22 回）
- ・参加者数 のべ 370 人

c 宝が池公園子どもの楽園プレイパーク

自由な遊びを中心とする通常プレイパーク活動は試験的に平日にも開催したほか、工夫を凝らしたゲームイベント、季節の特別イベントも開催した。

① 通常プレイパーク 27 回（29 年度 36 回）

- ・活動日 原則日曜日
- ・参加者数 のべ 6,500 人（29 年度 6,810 人）

② 特別イベント

- ・4 月 22 日 青空に泳ぐこいのぼりを作ろう 30 人（こいのぼりのペイント）
（4 月 28 日～5 月 6 日 こいのぼり掲揚）
- ・5 月 5 日 ちびっこまつり（京都学生文化児童教化連絡協議会と共催）約 1,000 人
- ・5 月 19 日 左京・東山児童館学童保育所まつり（共催）約 2,000 人
- ・5 月 27 日 龍狐伝説（様々なミッションを用意し、クリアした子どもがカードを集めるオリジナルのゲームイベント）約 220 人
- ・6 月 3 日 親水空間オープニング企画・ふね作ってうかばせよう 65 人
- ・11 月 11 日 どんぐりまつり 約 2,000 人
- ・11 月 17 日 左京子どもふれあいカーニバル（左京区「人づくり」ネットワーク実行委員会との共催）約 1,900 人
- ・11 月 25 日 子どもわくわくランド（人形劇等）約 380 人

③ けむんぱクラブ（宝が池ミニプレイパーク）

平日に 4 歳児までの乳幼児と保護者（親子）を対象に、森の散歩やもの作り等を通じて、親子や参加者間のつながりを深めるプログラムとして実施。

- ・開催日 毎月第 2 木曜日、第 2 金曜日（3 クラス）
- ・実施回数 計 29 回 参加者数 のべ 864 人（29 年度は 20 回、のべ 597 人実施）

d 青空健康づくりプログラム

① **ウォーキング教室** だれもが気軽にできる健康増進プログラムとして、梅小路公園の芝生広場でウォーキング教室を（公財）京都市健康づくり協会との提携により開催。運動不足などを原因とするロコモティブシンドローム（運動器症候群，通称ロコモ）予防のメニューを多く採り入れた。

- ・講師 （公財）京都市健康づくり協会 健康運動指導士・ヘルスケアトレーナー
- ・内容 ストレッチ，正しい歩き方指導，筋トレ，脳トレ，バランス運動，簡易体力測定，アンケート等
- ・季節ごとのテーマ

春～夏クール（4～7月）	楽しく体を動かして，心身をリフレッシュさせよう！
夏～秋クール（8月～11月）	自分に合った運動を習慣化させよう！
冬クール（12月～3月）	しっかり体を動かして，免疫力を高めよう！

- ・参加料 1クール 500円（回数により減額）
- ・開催日 第2・第4火曜日 計24回 のべ838人参加（28年度は24回。）

② **梅小路芝ヨガ** 広々とした公園での健康づくり，「1年を通じて緑の芝生」の良さを知っていただくため，11月23日，誰もが参加できるヨガ教室を開催した。

- ・主催（共催） 本協会及び（公財）京都市健康づくり協会（ヘルスパia 21）
- ・講師 Yoko Ogami, Sandra Fang（2部制）
- ・参加者数 計約330人 ・参加費 無料

オ 公園ボランティアの運営，連携，支援

梅小路公園，宝が池公園子どもの楽園にかかわるボランティア活動により親しまれる公園づくりを進めた。梅小路公園では，花壇管理，ビオトープ運営，市電車両（総合案内所等）の保全を中心とし，宝が池公園子どもの楽園では，子どもの自然体験のサポートを中心として協力関係づくりと支援を行った。

a ボランティア組織「梅小路公園・花と緑のサポーターの会」の運営

週2回の定例作業日に園内の花壇等の植栽の手入れを行うほか，講習会の運営補助，公園内外の普及啓発イベントや緑化活動への協力等を行っている。

- ・会員数 平成30年度末現在41人
- ・実績 活動回数124回，参加人数のべ1,164人
- ・活動例 市立白河総合支援学校生徒との花壇づくり，京都音楽博覧会への出展，上賀茂神社境内「葵の畑」づくりへの協力，園芸体験活動の指導等

b 梅小路公園内「花と緑のセラピーガーデン」活動

バリアフリーの観点で造られた通称「セラピーガーデン」等で，毎月2回，園芸作業や交流を行っている。園芸セルフケア教室（(1)アc）とも連携。

- ・指導 花と緑の普及員 寺田裕美子（園芸療法士（米国HTR））

c 市電車両の保全管理，及びチンチン電車普及啓発のボランティア活動

市電車両（チンチン電車，市電ひろば車両及び総合案内所として活用する車両）の清掃，点検，簡単な整備，保全管理のアドバイス，イベント時に運行していた市電の写真，模型やパーツの展示等の普及啓発にご協力をいただいている。（市電ひろば協力会，日本路面電車同好会関西支部，伏見チンチン電車の会）

カ 社会体験活動等の受入れ

公園での社会体験活動、公園管理運営を研修するインターン学生の受入れを行った。

a 総合支援学校の社会体験活動の受入れ（梅小路公園）

市立白河総合支援学校、東山総合支援学校の生徒の社会体験活動を受け入れ、ボランティアとの協働作業を交え、管理活動を行っていただいた。

b 学生インターンの受け入れ

京都学園大バイオ環境学部学生 梅小路公園・子どもの楽園（8～9月）計7人

キ 円山公園巡回・案内業務

市内有数の観光地である円山公園(国名勝)の施設、樹木の枯損等の確認、サクラ開花案内や紅葉の状況等を含む問合せ対応を京都市から受託して実施した。また、祇園枝垂れ桜ライトアップ時のかがり火管理業務、ゴザ回収業務も継続して受託した。平成31年3月からはホームページでの花見シーズンの利用案内を行った。

ク 岡崎公園芝生広場維持管理業務

梅小路公園芝生広場等の管理経験を活かし、岡崎公園の利用の中心である芝生広場の良好な維持管理に関する業務を29年度に引き続き京都市から受託した。

(8) 広報・出版

ア 広報誌・パンフレット等の発行

a 『京のみどり』（季刊）の発行

市内各地の緑に親しみ歩いていただくためのマップを作成し、緑を守り育てる地域・団体の取組を伝える特集を継続。また、グリーンインフラとして注目される雨庭の概念と事例を紹介するシリーズ、園芸相談、プレイパーク等協会事業、京都市の公園緑地施策等の情報を紹介した。

・各号の特集の概要

第87号(夏号) 7月発行	特集「伏見港今昔ツアー」【伏見区】(伏見港公園, 十石舟・三石舟, 伏見観光協会、伏見桃山プロジェクト等)
第88号(秋号) 10月発行	特集「秋を楽しむ紅葉ウォーク」【北区】(木島櫻谷旧邸, 真如寺, 等持院等)
第89号(冬号) 12月発行	特集「京の都の街路樹景観」(街路樹・街路樹サポーター紹介, 対談(みどり政策推進室小川室長, 京都府立大学福井准教授))
第90号(春号) 3月発行	特集「桜を愛でる春の疏水散策」【左京区】(琵琶湖疏水記念館, 白川源流と疏水を美しくする会等)

・部数 各号7,000部

・配布場所・配布先 市政案内所, 区役所・支所, 市立図書館, 公園愛護協力会, 全国の緑化団体等

b 「和の花」保全に関する小冊子の発行

希少になりつつある京都ゆかりの「和の花」の特徴や栽培方法、関連する生活文化を伝える小冊子「和の花を育てる1」（26年3月発行、国際花と緑の博覧会記念協会助成事業）からの続編として、京都市発行の冊子「未来へつなごう！ 京都の生物多様性」（平成30年度版、6,000部）の後半部に紙面をいただき、和の花3種を紹介する「和の花を育てる6」を掲載した。

・内容（第1章）生物多様性プランに基づく京都市の取組、団体・企業の活動

(第2章) エイザンカタバミ、カノコソウ、タムラソウの紹介、江戸期の京都の本草家・山本亡羊が採集した植物の紹介等

- ・発行 京都市環境政策局環境企画部環境管理課
 - ・体裁 A5版, 37ページ(第2章は20~37頁) ・配布引受け部数 2,200部
- また、「和の花を育てる1」の保管部数が減少したため、掲載内容の一部を最新情報に修正した改訂版を、平成31年3月に1,000部発行した。

イ ホームページによる発信

協会ホームページ(PCサイト)、梅小路公園用スマートフォンサイトを運営し、イベントや京都の緑の文化等のタイムリーな情報提供等に努めた。30年度の年間アクセス件数は過去最高を更新した。

- ・アクセス件数(Visits) 1,406,724件(29年度比15.3%増)
- ※Visits(訪問者数) 30分以内の同一IPをカウントしない、実質のアクセス数の指標。

(9) 調査・情報収集

施設の適切な管理や情報発信の基礎資料とするためのモニタリング等の調査・情報収集を行った。

ア 梅小路公園いのちの森モニタリング調査

京都ビオトープ研究会によるいのちの森のモニタリング活動への協力を行った。開園から22年を経過した森の変遷と、森で見られる生き物を紹介する展示パネルを作成し、来園者にモニタリング調査の様子を紹介した。また、モニタリング活動が、市民が参加、調査結果を利用できる「オープンサイエンス」の取組みとして『リビング京都』(11月24日号)に掲載され、参加者増につながった。

イ 宝が池周辺の森林

宝が池公園子どもの楽園周辺で、京都府立大学、京都大学、京都学園大学及び地域団体・事業所等で構成する「宝が池の森」保全再生協議会と協力し、ナラ枯れ被害集中箇所の更新の推移や、シカ食害の影響等の観察を継続している。

ウ グリーンインフラ・雨庭の調査研究

グリーンインフラとして注目される雨庭の調査研究と一般への普及を目指す「京都雨庭研究会」を事務局として運営し、『京のみどり』等での発信、具体的な開発テーマを持った研究会開催等を行った。(一社)京都造園建設業協会、京都市等が参加。(第1回は平成30年2月から。)

- ・研究会会合 第2回4月23日、第3回6月29日、第4回8月27日、第5回10月24日、第6回12月10日、第7回2月18日

エ 平安神宮神苑池浚渫検討委員会運営及び調査

平安神宮振興財団の委託(平成30年度からの2か年)を受け、イチモンジタナゴ等の希少生物を調査し、その生息環境としての神苑池の環境改善のため、浚渫の必要性を検討している。

I-2 (公2) 京都の庭園の保全管理、庭園文化・技術の継承及び発展に寄与する事業

決算額 23,384 千円 (予算額 20,934 千円)

京都の庭園の保全管理、庭園文化・技術の継承及び発展に寄与することを目的として、庭園の保全管理業務、その中での庭園講座等への活用、及び優れた庭園に関する情報発信等を行った。

ア 梅小路公園「朱雀の庭」の良好な維持管理と運営

京都が長年培ってきた造園技術を用い、伝統と創生が調和した「朱雀の庭」について、管理保全指針に基づく景観づくりに努めるとともに、新しい庭園の活用策としてイベント等を行った。

a 紅葉まつり

紅葉期間中の夜間活性化策として、例年好評の「朱雀の庭」夜間ライトアップを自主事業として実施した。ホームページの告知、周辺施設、ホテル等へのポスター、チラシ配布を行い、京都水族館、京都鉄道博物館の当日の入場チケットを持参された方に対し、100円の割引を実施した。ニュース番組で採り上げられたこともあり、入場者数は昨年度に比べ56%増加した。

・期間 11月16日～12月2日(15日間) 入園者数 9,395人(29年度6,021人)

b 朱雀の花会

いけばなの花材を自由に使い、気軽な形式で生け、作品を庭園に置いて写真を撮るなど、花と庭の文化を楽しむイベントを開催した。

・講師 西村良子(華道家)

・開催日 5月23日、9月29日(7月7日豪雨で中止) ・参加者 計17人

イ 庭園情報の収集・発信

京都の優れた庭園の情報を収集し、広報誌「京のみどり」(季刊)、前年度末にイメージを刷新したホームページ等において、庭園を実際に訪れていただくための発信を行った。また、海外に向けた日本庭園の情報発信のため、造園関係団体と協力して英文サイトのコンテンツ作成を進めた。

ウ 庭園文化講座等

日本庭園に関連する「緑の文化」、伝統的技術について理解を深めていただくことを目的に、庭園デザインや関連分野の建築・茶道等の様々な視点から庭園文化を学ぶ講座を実施した。

a 庭園文化講座

・受講料 第1回2500円、第2回3500円、第3回2700円(庭園拝観料含む。)

・受講者 のべ100人

・各回の実施内容

回	開催日	内容	講師(敬称略)
第1回	1月30日	(座学)池泉の庭(見学)金閣寺	吉田昌弘
第2回	2月13日	(座学)枯山水の庭(見学)妙心寺東海庵、退蔵院	吉田昌弘
第3回	2月27日	(座学)池泉の庭(見学)二条城二の丸庭園	吉田昌弘

(※29年度は3回実施。)

b 庭園ガイド活動

庭園ガイドボランティア（I(1)エ関連）による、朱雀の庭・いのちの森のガイド活動で、個人向け（原則月1回）、団体向け（予約制）として実施した。

- ・ガイド実績 計9回実施 のべ案内人数45人（ガイド23人）

c (一社) 日本造園修景協会第40回「伝統庭技研修会」研修会の企画運営への協力

全国から集まった造園家等を対象にした研修会の企画運營業務の受託。京都の庭師が、伏見稲荷大社社務所庭園、東福寺本坊庭園、東福寺塔頭栗棘庵・龍吟庵・即宗院・光明院の庭園について解説。

- ・開催日 11月29日、30日
- ・受講者数61人

II 公園収益事業

決算額 98,260 千円 （予算額 101,477 千円）

梅小路公園、宝が池公園子どもの楽園指定管理業務の中での収益事業、自動販売機飲料販売事業、国立京都迎賓館庭園の保全管理業務の受託等を行い、その収益を公益目的事業、及び法人業務の財源とした。ア～ウは酷暑、相次ぐ台風の接近等で収入は減少した。

ア 自動販売機飲料販売事業

イ 梅小路公園収益事業（貸室、遊戯用電車等）

遊戯用電車運行業務は、京都市による車体修繕のため、10月から年度末以降まで運休した。

ウ 宝が池公園子どもの楽園駐車場運營業

エ 国立京都迎賓館庭園維持管理事業

京都が長年培ってきた造園技術の集大成ともいえる京都迎賓館庭園について、内閣府からの受託事業として、造園に携わった造園業者とともに、管理保全指針に基づき、計画的な景観づくりに努めた。

III 法人業務

決算額 4,245 千円 （予算額 3,123 千円）

自律した経営方針を掲げている京都市外郭団体中期経営計画（平成30～32年度）、公益認定関連の法令、及び内外の情勢に対応し、法人業務を行った。

(1) 理事会・評議員会

理事会を2回、評議員会を1回開催した。

【理事会】

回	開催日	主要議決事項
第 15 回理事会	平成 30 年 5 月 30 日	平成 29 年度事業報告及び収支決算の件 定時評議員会の招集の件
第 16 回理事会	平成 31 年 3 月 18 日	平成 31 年度事業計画及び収支予算の件 事業推進積立金（1 号財産）の取崩しの件 資金運用規定の執行方針及び計画案の件

【評議員会】

回	開催日	主要議決事項
第 9 回評議員会	平成 30 年 6 月 22 日	平成 29 年度収支決算の件 理事選任の件 役員等報酬及び費用弁償に関する規程の改定について

(2) 京都市監査（出資団体、指定管理者、公金収納事務）への対応

京都市監査事務局により，平成 30 年 1 月 16 日～2 月 2 日の間に平成 29 年度を対象に行われた監査の結果，出資団体監査で 3 件，公の施設の指定管理者監査で 2 件（計 5 件）の指摘事項があった。平成 30 年 5 月に公表され，所管局より文書で指導を受け，是正措置をとった。

(3) K E S 認証の継続

平成 29 年度に再取得した K E S（京都環境マネジメントシステム・スタンダード）の環境改善活動として省資源，地域清掃等に取り組んだ。

・ 2 年目確認審査（2 月 15 日） 本協会の本来業務でもある希少植物保全活動及び緑化技術（雨庭等）普及を追加目標とすることが推奨された。

(4) 新規業務等に備えた体制整備

新たな指定管理業務となる京都市深草墓園の管理事務所の体制づくりに当たり，現指定管理者からの引継ぎの協力を得ながら，人材募集，事務研修，（公社）全日本墓園協会への加入等の準備を行った。

また，現況指定管理業務（梅小路公園，宝が池公園子どもの楽園）においても新たな指定管理期間を迎えることとなり，体制の更新及び人材募集を行った。

事業報告の附属明細書について

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書の内容である「事業報告の内容を補足する重要な事項」はないので、作成しない。